

ドリームスエフエム放送(株) 第130回番組審議会議事録

1 開催日時

令和7年2月25日(火)

2 開催場所

久留米市中央町 35-20 ドリームスエフエム放送(株) 本社

3 出席委員

審議委員:田中 優子、早田 耕一郎、入江 剛史、酒井 香、神谷 公康

放送事業者側:内藤 圭祐

4 議題

番組名:「ちくぎん地域経済 VOICE レポート」(録音)

放送日:下記のとおり

令和6年11月27日 大分県日田市 光興産(株) 次期後継者 長野 静さん

令和6年12月25日 久留米市 (株)ポーテックス 代表取締役社長 堀江 圭二さん

パーソナリティ:中嶋 順子

5 番組内容

筑邦銀行関連会社「ちくぎん地域経済研究所」が年4回発行する「ちくぎん地域経済レポート」に掲載された地域の注目企業から経営者を迎える毎月1回の10分間のトーク番組。令和4年1月からスタートし、ものづくりや食品製造、サービス、社会福祉まで多岐にわたる経営者が出演し、企業理念や経営についてお話をいただいた。また放送後はリスナーから「紹介した企業を初めて知った」「事業内容に共感が持てる」「一度店舗に行きたくなった」等、反応も毎回寄せられている。

6 審議内容

番組を視聴いただき、下記のような感想・意見を述べていただいた。

(委員意見)

- ① 企画内容は「地域企業の皆さんに話を聞く」というもので、興味を引く。
- ② 人選では若い経営者を選出している点で気持ちがいい内容だった。
- ③ 単に企業の話だけでなく、理念や光興産は接客で大切にしていること、「お元気さま手帳」、「真実の15秒」などバラエティ豊富に感じた。
- ④ 経営者の幼少期から青年期の話を含めることで、会社の話だけでなく人柄がぐっとクローズアップされていて、個人にもスポットが当たっている点がよかった。

- ⑤ 女性の次期後継者の話で「女性」という面が変にクローズアップされていないかと思ったが、そのような点もなかった。
- ⑥ オープニングのアナウンスで「地元への想いを語ってもらう」と話しているが、大分県日田市の企業は放送エリアの範囲を超えている。
- ⑦ 企業理念で「お客様や地域社会、仲間にも感謝」「今より一歩先を行く新しい挑戦」というフレーズが心に残り、書き留めた。
- ⑧ 経営者が話す、柔道の「義」を大事にしている話もよかった。
- ⑨ 懸念点としては、放送エリアの企業に絞って、スポットを当ててもらって、久留米・筑後地域の進行に繋げてほしい。
- ⑩ 単なる企業紹介ではなく、多角的な視点から語られていてよかったと思う。
- ⑪ 審議対象の2回の放送はそれぞれわかりやすく聞きやすいものだった。
- ⑫ 経営者がどのような人生を送ってきたのかという話が聞けるので人隣りがわかる。
- ⑬ 地元の経営者の話を聞くことで、若い世代が自分のロールモデルを見つけるきっかけになるのではと思った。
- ⑭ 宿泊施設経営者がこれから大切にしていきたいことで「祖父の代から59年続いている」という話で、祖父、父の働く姿を身近で見えてきたことで、会社を継ぐことが大変なことということも学んできたと伝わってきた。
- ⑮ パーソナリティの声が明るく、番組全体は和やかな雰囲気でもよかった。
- ⑯ ちくぎん地域経済研究所の発行するレポート誌面を基にした番組が、肉声になることでその人の独特さが出てきて内容が伝わりやすくなっていてラジオの声の強みを感じた。
- ⑰ 一連のストーリーができていたので、どんな目的・考えで事業をしているのか伝わってきた。色々な事業に当てはまるエッセンスが入っていた。
- ⑱ 宿泊施設経営者が話していた「自分の人生には父の影響が大きい」「いろんなことに気づく」と話していた点で、パーソナリティにどんな点が影響しているのか、深掘りして聞いてほしいなと思った。そこを聞くことで、色々なことが浮かび上がり、より面白い会社というのが伝わると思った。
- ⑲ (審議員と)同じ経営者の目線で言うと、単なる広告よりも肉声で伝わることでよりPRにもつながると思った。
- ⑳ 就職活動中の学生が聞くことで、企業を知るきっかけになると思う。その企業ではなくても地元の同業の企業に興味を持つきっかけになる。

① 地元の企業が出演することで、地域の若者たちが色々なことに興味をもってさらにこの街をブラッシュアップしてくれると思った。

② 地域は制限されるが業種は制限されないので、どんどん放送することで地域が盛り上がっていくきっかけになると思う。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表
自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、令和7年10月28日に行う予定